

# 土研新技術講習会 2008 in 四国

建設コンサルタンツ協会  
認定CPDプログラム

この講習会はくらしと技術の建設フェア in 高知 2008と同時開催されます。

## 新技術講習会

- 13:00~13:05 開会挨拶
- 13:05~14:05 コスト縮減に寄与する複合構造横断函渠工の設計と施工
- 14:10~15:10 3H工法(高橋脚建設新技術)
- 15:15~16:15 ALiCC工法(低改良率軟弱地盤対策施工)
- 16:15~16:20 閉会挨拶

平成20年

# 11月14日(金)

13:00~16:20

高知ちばさんセンター 5F研修室3  
入場無料

参加申し込みは土研のwebサイトからお願いします。

<http://www.pwri.go.jp/jpn/news/2008/1114/koushuukai.html>

【主催】独立行政法人土木研究所

【共催】社団法人建設コンサルタンツ協会四国支部

【後援】国土交通省四国地方整備局



独立行政法人土木研究所  
Tel.029-879-6800

〒305-8516 茨城県つくば市南原1-6

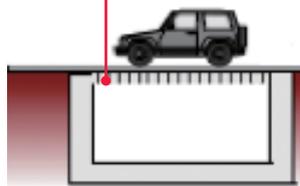
<http://www.pwri.go.jp/jpn/news/2008/1114/koushuukai.html>

# 紹介技術概要(四国)

## コスト縮減に寄与する複合構造横断函渠工の設計と施工 13:05~14:05



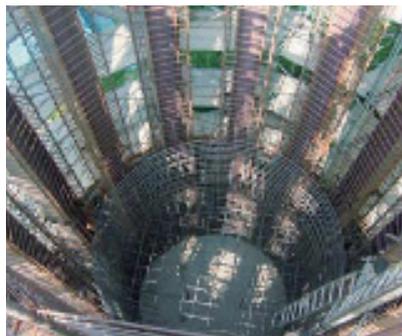
頂版をサンドイッチ構造とすることで、FHを低くすることが可能！



複合構造横断函渠は、頂版部に鋼・コンクリート合成構造を用いた土被りの無いボックスカルバートであり、従来構造に比較して盛土高を1m程度低く抑えることが可能となります。このため高規格幹線道路で、ボックスカルバートが道路縦断計画のコントロールポイントになる場合において、特にコスト縮減効果が期待できる工法です。

本講習会では、開発に至るまでの各種実験結果と現地導入における設計・施工状況について紹介します。

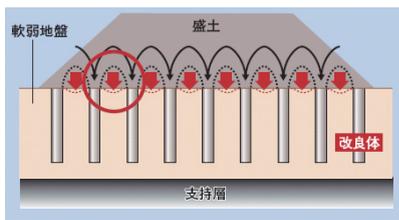
## 3H工法(高橋脚建設新技術) 14:10~15:10



山岳部の橋梁で背の高い橋脚を建設する場合、従来の鉄筋コンクリート構造の橋脚では、鉄筋量が多く、配筋作業が煩雑であることから、工費が高い、工期が長いという問題がありました。そこで、軸方向鉄筋および中間帯鉄筋に代わる部材として考案したスパイラルカラム(H形鋼材や鋼管の周囲に螺旋状のPC鋼棒を配した部材)を用い、優れた耐震性、施工性、経済性を有する高橋脚建設新技術・3H工法を開発しました。

本講習会では設計手法や施工事例を交えて紹介します。

## ALiCC工法(低改良率軟弱地盤対策工法) 15:15~16:15



近年、非常に軟弱な地盤上に道路等の社会基盤施設が計画されることが増えており、それに伴い、より高度かつ経済性を併せ持つ、低改良率の新しい軟弱地盤対策技術が求められています。本講習会では、ALiCC工法で低改良率化の設計のために導入した、盛土材のアーチ効果の評価方法について、開発時の基礎実験及び適用事例を交えて紹介します。

## 会場までのアクセス



### 高知ちばさんセンター

〒781-5101 高知県高知市布師田 3992-2

- JR高知駅より 車で10分
- 高知空港より 車で30分
- 高速道高知ICより 車で5分
- 高速道南国ICより 車で15分
- JR土佐一宮駅より 徒歩で15分